

令和7年度 防災備蓄物資整備事業  
仕様書

小 城 市

## 第1章 総則

### 1 目的

この仕様書は、令和8年度に小城市が整備する防災備蓄倉庫及び物資について必要な事項を定める。

### 2 物品の条件

納入製品はすべて新規製品とし、この仕様書に規定する条件を満足し、最適の機能を十分に有する物であること。規格を満たすものであれば、同等品を可とするが、希望する場合は、事前に製品の規格が分かる資料を提出し、承認を得ることとする。

### 3 諸条件

- (1) 制作費及び搬入の経費は、受注者によるものとする。
- (2) 搬入にあたっては、担当者と十分な打合せを行い、その指示に従って搬入すること。
- (3) 搬入にあたっては、建物等を損傷しないよう十分注意を払うこと。
- (4) 納品時に担当者の検収を受けること。

なお、納品時に不備が発見された場合や納品後、規格等に瑕疵が発見された場合等は、速やかに適正なものとの交換を行うこと。

- (5) 施設利用者等への安全対策を十分に行うこと。
- (6) 搬入にあたって発生した事故又は損傷等はすべて受注者が処理すること。
- (7) 業務完了後に完了報告書及び写真を提出すること。
- (8) 疑問な点等が生じた場合は、必ず担当者と綿密に打合せを行い、処理すること。
- (9) 業務上知り得た事項を漏らしてはならない。

### 4 仕様変更

契約後、やむを得ない事情により仕様変更や疑義が生じた場合は、防災対策課と協議の上、これを行うものとする。

### 5 検査及び検収

納入製品は、防災対策課の検査に合格しなければならない。また、数量確認、外観点検等をもって検収とする。

## 6 契約の条件

本契約は、小城市財務規則（契約）によるほか、次のとおりとする。

- (1) 仕様書について疑義が生じた場合又は細部については、防災対策課に連絡しその指示を受けるものとする。
- (2) 本品納入までのすべての諸費用は、受注者の負担とし、必要に応じ防災対策課の指示に従うこと。
- (3) 納入検査時の破損等に要する費用は、一切受注者負担とする。

## 7 保証期間

保証期間は、本仕様書に別途定めのない限り、メーカーの公表した期間とする。また、保証期間を問わず製造及び材質等の不良による障害が発生した場合は、無償で修理又は交換を行うものとする。ただし、天災等やむを得ない場合は、この限りではない。

## 8 納入期限

令和9年3月19日（金）

## 9 納入場所

本契約において設置する防災備蓄倉庫内

## 10 納入条件および納入方法

- (1) 物品の搬入は、防災備蓄倉庫の設置完了後に行うこと。
- (2) 納入日時は、事前に担当者と協議の上、決定すること。
- (3) 物品は、各備蓄倉庫内に搬入し、担当者の指示に従い所定の位置に整理して収納すること。
- (4) 搬入に伴い発生した段ボール等の梱包資機材やゴミは、受注者の責任において持ち帰り、適切に処分すること。

## 11 問合せ先

防災対策課 消防防災係 **【担当】** 野田・三ツ家 TEL.0952-37-6119

## 第2章 防災備蓄物資の品名及び数量

納入する物品の品名、規格、数量等は以下のとおりとする。

No.	品名	規格	数量	単位
1-1	防災備蓄倉庫	KGM-400 【株式会社カガミ】	8	基
1-2	ドア収納型スロープ	W500×L1400 【株式会社カガミ】	8	台
1-3	ソーラー換気扇	【株式会社カガミ】	8	台
2-1	保管用資材（かご車）	THT-XJ5C 【トラスコ中山株式会社】	56	台
2-2	中間棚板	THT-5T-5M 【トラスコ中山株式会社】	56	個
3-1	災害用トイレ （避難所セットA）	WT4SESS1AG 【日本セイフティー株式会社】	120	セット
3-2	災害用トイレ （避難所セットB）	WT4SESS1BG 【日本セイフティー株式会社】	40	セット
4	災害用ベッド	KO397 【小林薬品株式会社】	110	台
5	避難個室テント	KO396 【小林薬品株式会社】	150	セット
6	トイレプライバシーテント	KO388 【小林薬品株式会社】	120	セット

規格を満たすものであれば、同等品を可とするが、希望する場合は、事前に製品の規格が分かる資料を提出し、承認を得ることとする。

### 第3章 防災備蓄物資の仕様・規格等

#### 1 防災備蓄倉庫

##### (1) 設置場所及び設置数量

- ・小城保健福祉センター「桜楽館」(小城町畑田 750 番地)【1基】
- ・生涯学習センター「ドゥイング三日月」(三日月町長神田 1845 番地)【1基】
- ・牛津公民館(牛津町柿樋瀬 1100 番地 1)【1基】
- ・芦刈地域交流センター「あしぱる」(芦刈町三王崎 349 番地)【1基】
- ・小城体育センター(小城町畑田 98 番地 1)【2基】
- ・牛津体育センター(牛津町柿樋瀬 1100 番地 2)【2基】

詳細な設置場所については、防災対策課と協議の上、決定するものとする。

##### (2) 基本構造

- ・建築基準法、新耐震基準による法令等に準じた軽量鉄骨構造であり、本施設の構造体強度は、国土交通省「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」における「構造体：I類」相当とし、大地震動後においても構造体の補修をすることなく継続して使用できる耐震安全性を確保すること。
- ・耐水性・耐蝕性を有する気密性の高い構造とする。
- ・屋根、外壁はアルミニウム合金板とし支柱、梁等の鉄部もアルミニウム合金で覆う等、耐候性を有すること。
- ・直射日光等に長時間さらされても、収納品に影響を与えることのない断熱性を有すること。
- ・フォークリフトによるハンドリングおよびクレーンによる吊り上げ・吊り下げが、可能な構造とし、4 tトラックによる国内輸送が可能な寸法・重量とする。
- ・防災備蓄倉庫は、発注者が指定する位置に設置し、アンカーボルトを用いて基礎と強固に固定すること。なお、アンカーボルトの仕様(太さ、長さ、本数など)は、倉庫の規模および求められる耐震性能(I類相当)を満たす十分な引き抜き耐力を有するものを選定すること。
- ・耐久性(耐風圧性・耐衝撃性)を向上させるため、外壁材には波板を使用し、その波のピッチ(山と山の間隔)は45mm以下のものを使用すること。
- ・搬入時に使用する吊り金具は、本体へ傷がつかぬよう倉庫上部に設置すること。

### (3) 設計条件 (外部環境条件)

- ・外気温度：-10°C ~ +40°C
- ・外気湿度：30% ~ 90%
- ・積雪荷重：0.2m 以上 (建築基準法および佐賀県建築基準法施行細則に基づく垂直積雪量に耐えうること。)
- ・設置高度：標高 1,000m 以下

### (4) 構造強度、性能等

防災備蓄倉庫は、防災拠点施設 I 類相当の性能を有し、以下の各強度条件を満たすものとする。

- ・耐風圧荷重は、建築基準法に基づく基準風速  $V_0$  34 m/s において、構造部材が有害な変形を生じないこととする。
- ・耐震性は、(水平 0.8G、垂直 0.5G、 $C_i=0.45$ ) とする。
- ・屋根強度(積雪荷重)は、等分布荷重  $600\text{N/m}^2$  以上にて構造部材が有害な変形を生じないこととする。
- ・床強度は、( $3900\text{N/m}^2$ 、安全荷重  $350\text{Kg/m}^2$ ) とする。
- ・壁強度は、( $140\text{N/m}^2$ ) とする。
- ・本体重量は、設置場所の地耐力および搬入時 (輸送及びクレーン搬入に耐える) の作業性を考慮し、1,500kg 以下とすること。
- ・外壁および屋根材の板厚は、0.8mm 以上とすること。
- ・暴風雨時においても庫内への雨水の浸入がない構造とすること。
- ・砂埃等の粉塵が庫内に侵入しないよう、気密構造とすること。(ただし、自然換気口などの換気設備部分は除く)
- ・庫内の温度上昇および結露を防止するため、外部電源を必要としない「ソーラー式換気扇 (太陽光駆動型)」を設置すること。また、自然換気口を含め  $300\text{mm} \times 300\text{mm}$  以上の換気設備を計 2 か所以上設け、各換気口には防虫網、防砂フィルター、雨よけフードを設けること。
- ・壁面および屋根面にはグラスウール等の適切な断熱材 (厚さ 50mm 以上) を充填 (または配置) し、外部の温度変化による庫内の備蓄品および収容機器への影響を最小限に抑える構造とすること。
- ・出入口の扉は、備蓄品の搬入出が容易な両開き構造 (アルミサッシ製框ドア等) とし、防犯のため施錠設備 (鍵 3 本以上付属) を設けること。

・重量物や台車等でのスムーズな搬入出を可能にするため、出入口には「ドア収納型スロープ」を設けること。なお、スロープは十分な耐荷重を有する堅牢なものとすること。

#### (5) 使用材料

本施設は屋外に長期設置されるため、主要な構造部材および内外装材は、十分な耐久性と防錆性を有する材料を使用すること。

・構造部材は、軽量形鋼等の鋼材を使用し、サビ止め塗装（または溶融亜鉛めっき処理等）など、確実な防錆処理が施されたものであること。

・外壁および屋根材は、アルミニウム合金板またはそれらと同等以上の耐候性・防錆性を有する金属板を使用し、表面には耐候性を高める塗装（クリア塗装やプリコート処理等）を施すこと。

・外部に露出するボルト、ナット、蝶番などの金物類は、原則としてステンレス製、または防錆処理を施したものを使用すること。

・内装について、床面は耐水性を有する材料（厚さ 12mm 以上の耐水合板等）、壁面および天井面は結露や汚れを防ぐ仕上げ（厚さ 4mm 以上の化粧合板等）とすること。

#### (6) 検査

受注者は、本施設の設置完了後、監督職員の立会いのもと、以下の項目について完了検査を受けること。

・構成・構造型式

[検査方法] 目視および書類確認

[内 容] 提出された仕様書および図面と現物が一致しているか確認する。

・塗装・外観

[検査方法] 目視

[内 容] 仕様書通りの塗装・表示がなされているか、輸送や設置に伴う傷・サビ等がないか確認する。

・寸法・重量

[検査方法] 実測および書類確認

[内 容] 主要寸法を実測し、重量は提出書類等により仕様書・図面と適合しているか確認する。

・機能・動作

[検査方法] 操作確認

[内 容] 扉の開閉・施錠、スロープの出し入れ、換気扇等の可動部が正常に機能するか、実際に操作して確認する。

・設置・固定状態

[検査方法] 目視および実測

[内 容] 指定位置に設置され、アンカーボルト等により基礎と強固に締結されているか確認する。

・付属品・予備品

[検査方法] 目視および数量確認

[内 容] 鍵やスロープ等の付属品が、仕様書・図面通りに納品されているか確認する。

## (7) 提出書類等

受注者は、納品時に以下の書類を各1部提出すること。

・写真帳（製造および施工記録）

本体内部構造が確認できる製造過程の写真

基礎設置および本体設置時における施工写真

・構造計算書

屋根荷重、壁荷重、床荷重、積雪荷重、風荷重、地震荷重、母屋・根太の設計が明記され、本仕様書の要求強度（I類相当等）を満たすことを証明するもの。

・製造工程管理表

・製品完成検査証（製造メーカーが発行するもの）

・製品保証書

・取扱説明書

## (8) 保証期間

・本製品の保証期間は、引渡し完了（検査合格）後、5年間とする。

・保証期間内に、通常の使用状態において材料不良や製造不良に起因する不具合が生じた場合は、受注者の負担において無償で修補を行うこと。（ただし、天災等の不可抗力や発注者の過失によるものを除く）

・保証期間終了後であっても、納入当初からの重大な材料不良等に起因する不具合が判明した場合は、両者協議の上、誠実に対応すること。

## 2 保管用資材（かご車）

### （1）配置場所及び配置数量

防災備蓄倉庫 1 基あたり 7 台の保存用資機材（かご車）を配置する。

### （2）基本仕様

- ・均等荷重：500kg 以上に耐え得る構造であること。
- ・本体構造：スチール製パイプフレーム（粉体塗装等の防錆処理済みであること）
- ・底板材質：ポリプロピレン（PP）等の樹脂製であること。
- ・折りたたみ機構：不使用時に L 字型に折りたたみ、複数台をネスティング（入れ子式に重ねて収納）できる構造であること。
- ・キャスター（車輪）は、車輪径が 150mm 程度で、ゴム製等の省音（静音）キャスターであること。
- ・旋回仕様は、4 輪すべてが旋回する「4 輪自在キャスター」とし、そのうち 2 輪にはストッパー（車輪ロック機能）を備えること。
- ・本体 1 台につき、専用の「中間棚」を 1 枚付属すること。中間棚はスチール製等で十分な強度（耐荷重 100kg/段 以上）を有し、本体の任意の高さに安全かつ容易に着脱できる構造であること。

### （3）規格（形状・寸法）

- ・外形寸法：幅 1,100mm 程度 × 奥行 800mm 程度 × 高さ 1,700mm 程度で倉庫の出入口やスロープを通行できる寸法であること。
- ・有効内寸：幅 1,030mm 以上 × 奥行 740mm 以上 × 高さ 1,440mm 以上

### （4）検査

- ・納入にあたっては、指定の防災備蓄倉庫内へ搬入し、正常に展開・折りたたみ、および中間棚の着脱ができるか動作確認（検査）を行うこと。
- ・取扱説明書を添付すること。

### 3 災害用トイレ

#### (1) セット内容および数量

##### 【避難所セット A】

- ・災害用トイレ 参考：WT-4 GV (S) (1台)
- ・専用バッテリー 参考：ハンディーバッテリー (1個)
- ・専用消耗品セット 50 回分 参考：消耗品セット B タイプ (5セット)

##### 【避難所セット B】

- ・災害用トイレ 参考：WT-4 GV (S) (1台)
- ・専用バッテリー 参考：ハンディーバッテリー (1個)
- ・専用消耗品セット 50 回分 参考：消耗品セット B タイプ (5セット)
- ・専用手すり 参考：ラク・アーム WR-3 (1台)

#### (2) 基本仕様

- ・本体及びラク・アーム等は工具不要で容易に組み立ておよび折りたたみが可能であること。
- ・耐荷重は、150kg 以上であること。
- ・衛生管理のため便座は取り外しができ、水での丸洗いが可能であること。また次亜塩素酸消毒も可能であること。
- ・消耗部品（ヒーター、圧着ゴム）に対し、交換修理が可能なこと。
- ・災害時の停電を想定し、複数の電源に対応できること。
- ・AC100V（家庭用コンセント）のほか、専用リチウムイオンバッテリー、および DC 電源（自動車のシガーソケット等）からの給電で動作可能であること。
- ・ハンディーバッテリーは、電池容量 6,900mAh 程度以上とし出力電圧は DC14.4V 程度、放充電 500 サイクル以上のサイクルを備えること。
- ・ラップポン消耗品セット B タイプは、フィルム（50 回分）・凝固剤（50 回分）・ウェットティッシュ（100 枚）がセットになっているものとする。
- ・専用手すりの手すり部垂直耐荷重は概ね 80 kg 以上であり、重量は概ね 8 kg 以内とする。
- ・本体 1 台に付き、使い方ポスター、フィルム取付けポスター、設置案内ステッカーを各 1 枚ずつ付属すること
- ・組立て方法が日本語で分かり易く描かれた取扱説明書が本体各 1 台につき 1 部が添付

されていること

### (3) 規格（形状・寸法）

- ・ 備蓄時（折りたたみ時）は分解又は折りたたんで段ボール製の収納箱 1 箱内に収納されていることとし、省スペース化のため複数段（5 段程度）の段積みが可能であること。
- ・ 収納箱の寸法は、幅 500mm × 奥行 600mm × 高さ 400mm 程度以下とし、コンパクトに備蓄できること。
- ・ 本体外形寸法は、以下の範囲を基本とすること。  
（収納時）幅 400mm 程度 × 奥行 500mm 程度 × 高さ 300mm 程度 以下に収まること。  
（使用時）幅 400mm 程度 × 奥行 500mm 程度 とし、座面高さは立ち座りが容易な 400mm 程度 であること。
- ・ 本体重量は、持ち運びが容易な重量（本体 15kg 程度以下）であること。また、AC アダプター等の付属品も軽量かつコンパクトであること。
- ・ 専用手すりの寸法は、（梱包時）W840 × D590 × H125 mm 程度、（組立時）W570 × D570 × H820 mm 程度、（アーム高さ）615 mm 程度、（背もたれ高さ）820mm 程度とすること。

### (4) し尿処理方式

- ・ 水を使用せず、排泄物を 1 回ごとに特殊フィルムを用いて自動で熱圧着し、個包装（密封）して切り離す方式であること。
- ・ 密封処理で使用するフィルムロールは BOS フィルム等のポリエチレン特殊構造防臭フィルムとし、排泄物の臭いや細菌（微生物）を長期間外部に漏らさない高い防臭・防菌性能を有し、焼却しても有毒ガスが発生しない環境配慮型とする。
- ・ 排泄のたびに新しいフィルムが供給され、常に清潔な状態で使用できる構造であること。
- ・ フィルムの色は限定しないが透過性が低く中身が極力見えにくいものであること。通常使用時に破袋等の問題が起きにくいものとする。
- ・ 凝固剤は高吸水性樹脂製とし粉末状とし、尿 300mℓ 以上をゲル化する吸水能力があること。

#### (5) 提出資料（性能証明）

納入にあたり、本製品が避難所等で安全かつ衛生的に使用できることを証明するため、以下の性能を満たすことが確認できる公的機関等の試験成績書（またはメーカー発行の品質証明書、仕様書、カタログの該当箇所の写し等）を提出すること。

- ・耐荷重性能：トイレ本体が 150kg 以上、専用手すりが 80kg 以上の垂直耐荷重を有すること。
- ・フィルムの防臭・環境性能：衛生管理のため、密封に使用するフィルムが防臭・防菌性能を有していること。また、環境配慮のため、焼却処理時に有毒ガス（ダイオキシン等）が発生しない材質であることが確認できること。
- ・凝固剤の吸水性能：付属の凝固剤が、尿 300ml 以上を確実にゲル化（吸水）する能力を有すること。
- ・バッテリーの安全性：付属の専用リチウムイオンバッテリーが、電気用品安全法（PSE マーク）に適合している、または同等の安全基準を満たしていること。

#### (6) 検査

- ・納入にあたっては、指定の防災備蓄倉庫内へ搬入すること。
- ・納入時に、発注者立会いのもと、組み立ておよび動作確認（熱圧着機能の稼働テスト）を行うこと。

## 4 災害用ベッド

### (1) 基本仕様

- ・部品の組み立てや工具を一切必要とせず、広げるだけで容易かつ迅速に設営できる「ワンタッチ展開方式」であること。
- ・収納時も、フレームを縮めるだけで容易に折りたたむことができる構造であること。
- ・耐荷重：複数人が腰掛けることなどを想定し、均等耐荷重 250kg 以上の堅牢な構造であること。
- ・接地部：横揺れや転倒を防ぐため、多点接地（8～10 点程度）で荷重を分散する構造であること。
- ・フレーム材質：スチール等（防錆塗装済み）の頑丈な金属製であること。
- ・シート（生地）材質：ポリエステル等の丈夫な素材であり、防水加工および抗菌加工が施されていること。
- ・感染症対策として、シート表面はアルコール等での拭き取り消毒が可能な材質であること。
- ・本体 1 台につき、以下のものを付属すること。
  - 専用収納袋（持ち運び用の取っ手付きであること）
  - 衛生的に使用するための専用シート（不織布製等）
  - 取扱説明書（※収納袋に縫い付けられている、または分かりやすい図解があるもの）

### (2) 規格（形状・寸法・重量）

- ・展開時寸法：長さ 190cm 程度 × 幅 75cm 程度 × 高さ 40cm 程度であること。  
（※立ち上がりやすく、床の冷気や埃の影響を受けにくい高さであること）
- ・収納時寸法：長さ 105cm 程度 × 幅 20cm 程度 × 高さ 20cm 程度であること。
- ・本体重量：持ち運びが容易な 7kg 程度以下であること。

### (3) 提出資料（性能証明）

納入にあたり、本製品が避難所等で安全かつ衛生的に使用できることを証明するため、以下の性能を満たすことが確認できる公的機関等の試験成績書（またはメーカー発行の品質証明書、カタログの該当箇所の写し等）を提出すること。

- ・耐荷重性能：複数人での使用を想定し、均等耐荷重 250kg 以上の強度を有すること。
- ・抗菌性能：感染症対策のため、シート生地が抗菌性を有すること（JIS L 1902 等に準

ずる試験結果)。

- ・消毒液耐性（堅牢度）：衛生管理のため、75%エタノール（アルコール）および次亜塩素酸ナトリウム溶液による清掃・消毒を行っても、著しい色落ちや生地劣化が生じないこと。

- ・防災性能：避難所での安全確保のため、シート生地が防災性を有すること（JIS L 1091等に準ずる試験結果）。

#### （４）検査

- ・納入にあたっては、指定の防災備蓄倉庫内へ搬入すること。

- ・納入時に、発注者立会いのもと、数台を無作為に抽出し、ワンタッチでの展開・収納が仕様通りに機能するか動作確認（検査）を行うこと。

## 5 避難個室テント

### (1) 基本仕様（機能・構造・材質・付属品等）

- ・生地：ポリエステル等の丈夫な素材（抗菌、防炎加工が施されていること）
- ・フレーム：高弾性スチール等の金属製であること。
- ・ワンタッチで設営できる自立式フレーム一体型（四面）構造であること。
- ・屋根付きの場合は、屋根を取り付けることで全体が5面構造になること。
- ・壁面はプライバシー確保のため、アルミコーティング等を施し、内部のシルエットが透けない仕様であること。
- ・工具を使用せずに、1人で1分程度を目安に容易に展張・設置、および収納ができること。
- ・ファスナー操作等により「全閉」「メッシュのみ」「全開」の切り替えができ、十分な換気効果を有すること。
- ・出入口のファスナーは、内側からカラビナ等で施錠できる構造であること。
- ・テント内部にランタン等の吊り下げ用フックがあること。
- ・付属の床用アルミマットをテント内部の四隅等で固定可能であること。
- ・出入口周辺に表札と伝言用ボードを掲示できる箇所を設けていること。
- ・高齢者や車椅子利用者でも出入りが容易なよう、出入口の段差が低い（または無い）バリアフリー形状であること。
- ・出入口のファスナーは、暗所でも操作しやすい引き手等の工夫がなされていること。
- ・付属の収納袋は、付属品等の小物類を分けて収納できるポケット等を備えていること。
- ・本体1張につき、以下のものを付属すること。  
本体、屋根カバー（網戸付き、着脱可能）、アルミ敷きマット（床面サイズに適合するもの）、砂袋（重り用）、ペグ（固定用）、伝言板、表札、マジックペン（ボード消し付き）、簡易施錠用具（カラビナ等）、日本語表記の取扱説明書（組立動画 QR コード付き等）、ショルダー式収納袋
- ・付属品一式とともに専用収納袋に収め、1セットを1梱包として個装箱（段ボール箱等）に封入して納品すること。

### (2) 規格（形状・寸法・重量）

- ・展張時：幅 210cm 程度 × 奥行 210cm 程度 × 高さ 140cm 程度
- ・収納時：直径 75cm 程度 × 厚さ 10cm 程度 以下に収まること。

- ・重量：持ち運びが容易な 6kg 程度以下 であること。

### (3) 提出書類（性能証明）

納入にあたり、本製品が避難所等で安全かつ衛生的に使用できることを証明するため、以下の性能を満たすことが確認できる公的機関等の試験成績書（またはメーカー発行の品質証明書等）を提出すること。

- ① 防災性能：区分 3 以上（JIS L 1091 等に準ずる）を有すること。
- ② 遮光性能：プライバシー保護のため、遮光率 99%以上（JIS L 1055 等に準ずる）を有し、透けない生地であること。
- ③ 抗菌性能：感染症対策のため、生地が抗菌性を有すること（JIS L 1902 等に準ずる）。
- ④ 消毒液耐性：アルコール等で消毒・清掃できるよう、一定の色堅牢度（JIS L 0846 等に準ずる）を有すること。

### (4) 検査

- ・納入にあたっては、指定の防災備蓄倉庫内へ搬入すること。
- ・納入時に、発注者立会いのもと、数台を無作為に抽出し、ワンタッチでの展開・収納が仕様通りに機能するか動作確認（検査）を行うこと。

## 6 トイレプライバシーテント

### (1) 基本仕様（機能・構造・材質・付属品等）

- ・生地：ポリエステル等の丈夫な素材であり、抗菌、防炎加工が施されていること。
- ・フレーム：高弾性スチール等の金属製であること。
- ・構造：部品の組み立てを必要とせず、ワンタッチで設営できる自立式フレーム一体型構造であること
- ・設置および収納において工具等を必要とせず、1人で容易かつ迅速（1分程度を目安）に完了できること。
- ・テント生地にはシルバーコーティング等を施し、昼夜問わず内部のシルエットが透けない（透け防止）仕様であること。
- ・屋外での使用も想定し、生地は一定の防水・撥水効果を有していること。
- ・テント本体に通気口を設け、臭いや湿気がこもりにくい構造であること。
- ・出入口はダブルジッパー方式等を採用し、内側からカラビナ等で確実に施錠できること。
- ・テント内部に、トイレトーパーホルダーおよびランタン等を吊り下げるためのフックを備えていること。
- ・感染症対策のため、生地表面はアルコール等での拭き取り消毒が可能な材質であること。
- ・本体1張につき、すぐに使用できるよう以下のものを付属すること。  
テント本体、専用収納袋（ショルダーベルト等付き）、ペグ（固定用）、砂袋（重り用）、固定用ヒモ、簡易施錠用具（カラビナ等）、「使用中」がわかる表示プレート、取扱説明書（分かりやすい図解があるもの）
- ・付属品一式とともに専用の収納袋に収め、1セットを1梱包として個装箱（段ボール箱等）に封入して納品すること。

### (2) 規格（形状・寸法・重量）

- ・使用時：幅 120cm 程度 × 奥行 120cm 程度 × 高さ 190cm 程度  
（※内部で着替えや簡易トイレの使用が支障なく行える空間を確保すること）
- ・収納時：直径 60cm 程度 × 厚さ 10cm 程度 以下に収まること。
- ・重量：持ち運びが容易な 3kg 程度以下 であること。

### (3) 提出書類（性能証明）

納入にあたり、本製品が避難所等で安全かつ衛生的に使用できることを証明するため、以下の性能を満たすことが確認できる公的機関等の試験成績書（またはメーカー発行の品質証明書等）を提出すること。

- ・ 防災性能：区分3以上（JIS L 1091 等に準ずる）を有すること。
- ・ 遮光性能：プライバシー保護のため、遮光率 99%以上（JIS L 1055 等に準ずる）を有し、透けない生地であること。
- ・ 抗菌性能：感染症対策のため、生地が抗菌性を有すること（JIS L 1902 等に準ずる）。
- ・ 防水・撥水性能：屋外での降雨に耐え得る一定の防水・撥水性能（JIS L 1092 等に準ずる）を有すること。

### (4) 検査

- ・ 納入にあたっては、指定の防災備蓄倉庫内へ搬入すること。
- ・ 納入時に、発注者立会いのもと、数台を無作為に抽出し、ワンタッチでの展開・収納が仕様通りに機能するか動作確認（検査）を行うこと。